



とっとり 緑推だより

NO.35

2015.9発行

公益社団法人 鳥取県緑化推進委員会

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地鳥取県農林水産部森林・林業振興局内

TEL 0857-26-7416 FAX 0857-26-8192

E-mail:info@tottori-green.or.jp URL:<http://www.tottori-green.or.jp>

■会員の現況平成26年12月31日現在 ●正会員 97名 ●賛助会員 70名 ●特別会員 1名

理事長就任の挨拶

鳥取県議会議長 齋木 正一



平成27年7月17日開催の臨時総会及び臨時理事会において選任をいただき、本委員会の理事長に就任いたしましたので一言ご挨拶させていただきます。

皆様方には、日頃から本県の緑化推進や緑の募金活動にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

本委員会は、戦後の荒廃した山に「緑の募金」を通して緑を取り戻そうと昭和25年に創設され、今日まで県民の皆様のご協力をいただきながら、緑の募金事業を継続して参りました。また平成25年には、鳥取県知事の認定を受け公益社団法人に移行し、更なる緑化活動の強化を図っているところでございます。

森林は、水源のかん養、二酸化炭素の削減による温暖化の防止や空気の浄化、減災による国土の保全活動など、県民生活に欠かせない公益的機能を有しております、適正な森林整備の重要性が認識されているところでございます。

しかしながら、木材価格の低迷、林家の高齢化等により、手入れの遅れた森林が増加する一方で、地球温暖化により各地で集中豪雨による洪水の発生、森林の土砂災害が多発し、森林の持つ公益的機能発揮のための早急な対策が求められています。

森林からの恩恵は、県民全体が享受するものであり、県民みんなで森林を守り育てていくことが大切です。そのためには、県産材の積極的な活用や森林ボランティア活動を支援、未来の森づくりリーダーとなる「みどりの少年団」の育成など継続的な取り組みが必要です。

県民の皆様には、様々な機会を通じて緑化に対する理解を深めていただきますとともに、緑の募金をはじめ各種の緑化推進事業を実施しております本委員会へのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひします。

■緑の募金にご協力をお願いします。

当委員会の主要業務であります「緑の募金」運動を本年度も下記のとおり実施することとし、春の募金運動を3月25日(水)から5月31日(日)までの間、県下一斉に展開しました。

初日は、イオン鳥取北店とイオン日吉津ショッピングセンターでの街頭募金でスタートしました。イオン鳥取北店では、鳥取市立賀露小学校みどりの少年団、イオン日吉津ショッピングセンターでは、日吉津村立日吉津小学校みどりの少年団の皆さんに協力をしていただき、朝10時より街頭募金を始めました。子どもたちの元気な呼びかけに多くの方に募金していただきました。

また、家庭募金、職場募金、企業募金にもご協力をいただきありがとうございました。

現在、秋期の「緑の募金」運動を実施中です。みなさまのご協力、よろしくお願いします。



平成27年募金運動計画

- (1) 目標額 2,500万円
- (2) 募金期間 春期 平成27年3月25日(水)～5月31日(日)
秋期 平成27年9月1日(火)～10月31日(土)
- (3) 募金方法 街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等
- (4) 主な使途 森林の整備(公共性の高い森林の整備等)
緑化の推進(公共施設等への植樹、緑化イベントの開催、緑の少年団育成等学校関係の緑化、地域の緑化等)

この緑の募金は、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」(平成7年法律第88号)に基づいて実施するもので、森林の整備や各地域・学校・公共施設などの緑化等に活用され、地球の温暖化防止にも役立っています。

平成27年度春期募金結果は、
街頭募金60万円、学校募金102万円、
家庭募金1,521万円、企業募金16万円、
職場募金253万円、その他募金81万円、
合計2,033万円 対前年比の103.0%
の実績を上げることが出来ました。

いただきました淨財は外部有識者による
「緑の募金等運営協議会」で審査等を経た
上で、緑化事業の推進に大切に使わせて
いただき、皆様方の地域環境の改善等に
役立たせていただきます。



■第3回通常総会の開催

とき 平成27年2月10日（火）
ところ 白兎会館「らいちょうの間」

平成27年2月10日（火）に、第3回通常総会を正会員96名のうち64名（出席24名、委任状40名）の出席を得て開催しました。

総会は野田理事長（当時）の挨拶に続いて、公益社団法人国土緑化推進機構からの祝電披露、その後議長に智頭町森林組合代表理事組合長 寺坂 安雄さんを選出し、議事録署名人に団体会員で鳥取県林業研究グループ連絡協議会会长 岸田 鉄男さん、個人会員の安田 信二さんを選任し、議事に入りました。

第1号議案「平成26年度事業報告及び収支決算について」事務局より説明し、監査結果を大家 繁博監事から報告していただき、質疑等のあと第1号議案は議案どおり承認されました。

続いて第2号議案「常勤理事の報酬等の額について」事務局より説明し、質疑等のあと承認されました。
第3号議案「役員の改選について」説明し、全理事の重任を提案し、全員異議なしということで承認されました。
その後、「平成27年度事業計画及び収支予算について」事務局より説明をし、了解をいただきました。

今年度の事業の推進について、皆様方の温かいご理解、ご協力をよろしくお願いします。



■緑の募金贈呈式



平成27年2月5日（木）、全日本ロータス同友会 鳥取県支部様から「緑の募金」へのご寄付があり、事務局の谷口裕加様より当委員会岡村常務理事へ贈呈していただきました。
「緑の募金」へのご協力、誠にありがとうございました。



5月16日（土）、株式会社ジーエス・ユアサバッテリー中四国支社登録の中国5県の販売店で組織する中国ジーエス・ユアサ会様より、米子市皆生温泉つるやにおいて、同会会長の石丸 昭二様より当委員会岡村常務理事へ「緑の募金」を贈呈をしていただきました。

ご協力、誠にありがとうございました。



6月24日（水）、農林水産部森林・林業振興局長室において「緑の募金」贈呈式が行われました。鳥取いなばライオンズクラブ様（贈呈者：山根 秋雄会長）では、鳥取いなばライオンズクラブの例会（月2回開催）で会員に「緑の募金」を募り、集まった净財を「緑の募金」としてご寄付いただいたものです。

ご協力、誠にありがとうございました。



7月24日（金）、千代三洋工業株式会社様より「緑の募金」へのご寄付があり、県議会議長室において、代表取締役社長 山田 哲様、社員代表として中西 康浩様より当委員会理事長（斎木 正一県議会議長）へ贈呈していただきました。

「緑の募金」へのご協力、誠にありがとうございました。

ご寄付いただきました「緑の募金」は、本県の森林整備、緑化推進のため有効に活用させていただきます。

■第60回鳥取県植樹祭の開催



10時から参加者による参加者植樹が行われ、抵抗性クロマツを植樹しました。11時からの式典開始の前に、オープニングアトラクションとして逢鶯太鼓連による「和太鼓演奏」が披露され、参加者から盛大な拍手が送られました。

続いて開会が宣言され、みどりの少年団の皆さんによる元気な入場行進と少年団の紹介、主催者挨拶、来賓紹介の後、鳥取県美しい森づくり功労者表彰とテーマ表彰があり、第60回鳥取県植樹祭テーマ最優秀賞に鳥取市立中ノ郷小学校5年（応募当時）澤米 政さん、同優秀賞に鳥取市在住の有田 進さんが受賞されました。その後、苗木の贈呈が行われ、第64回全国植樹祭において、天皇

5月10日（日）鳥取県、鳥取市及び本委員会の主催により、鳥取市福部町湯山「鳥取砂丘オアシス広場」において「鳥うたい 緑きらめくオアシスを」を大会テーマとして第60回鳥取県植樹祭が開催されました。

式典が始まるまでの間、鳥取市立浜坂小学校みどりの少年団と鳥取市立中ノ郷小学校のみどりの少年団のみなさんが緑の募金活動を行いました。子どもたちの元気な呼びかけに、多くの方にご協力をいただきました。ありがとうございました。



皇后両陛下お手植き樹のイロハモミジの苗木が鳥取市立福部小学校に贈呈されました。

「森林・みどりへの想い」発表として、鳥取市立福部小学校みどりの少年団、山湯山らっきょう生産組合 湯邨 紀子さんの発表が行われました。

その後、代表植樹としてヤマモモ、また、今年は鳥取県植樹祭が60回目の節目を迎えたことを記念して、今年還暦を迎える方及びその家族、60周年を迎える企業・団体等の方々で、海岸の砂浜に群生し、鳥取砂丘にも自生するハマナスを記念植樹していただきました。

昼食時にはアトラクションとして、地元福部すなっこ園の園児によるダンスとうたの披露、国府町因幡の傘踊り保存会による因幡の傘踊り、逢鷺太鼓連の和太鼓の演奏が披露されました。また、地元特産物の販売も行われ多くの人で賑わっていました。

鳥取県緑化推進委員会では記念品としてマユミ、エゴノキの苗木各300本計600本の無料配布を行い好評を得ました。

森林・木にふれる催しとして木工教室、ジオパーク工作、鳥取砂丘探検が行われ、多くの方に参加いただきました。



■第66回全国植樹祭が石川県で開催される



第66回全国植樹祭が平成27年5月17日（日）に石川県小松市「木場潟公園」を式典・植樹会場に、「木を活かし 未来へ届けるふるさとの森」を大会テーマとして、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国各地の林業関係者や地元関係者が参加して盛大に開催されました。

オープニングでは、プロローグアトラクション「～先人たちの木と生きる技～現代の技、技術」のあと、天皇皇后両陛下がご到着され、式典が始まりました。

開会のことばに続き三旗掲揚・国歌独唱、主催者挨拶、ポスターコンクール、緑化功労者などの表彰が行われ、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手書きが行われました。

天皇陛下はクロマツ・ケヤキ・スギ、皇后陛下はアカマツ・ケンロクエンキグザクラ・ヤマモミジのお手植えと、アテ（ヒノキアスナロ）・クヌギを天皇陛下が、皇后陛下はヤマザクラとトチノキをお手書きされました。

天皇皇后両陛下のご退席のあと、エピローグアトラクションがあり、グランドフィナーレとなりました。



■平成27年度第2回緑の募金等運営協議会

平成27年7月14日（火）ホテルモナーク鳥取において、平成27年度第2回緑の募金等運営協議会が開催されました。

これは、皆様からいただいた緑の募金の使い道について審査をする会です。

皆様にご協力いただいた募金は、街頭募金、学校募金、家庭募金にかかるものは、65%を限度に各市町村支部を通じて、緑化活動を実施する団体に交付金として交付し、地域や学校などの緑化に活用してもらい、他の募金については、公募事業等により、各種団体やみどりの少年団等が行う森林づくりや緑化イベントなどの助成金として交付します。

「緑の募金」の使途につきましては、外部委員からなる「緑の募金等運営協議会」の意見を聞きながら、適切かつ有効に活用するように努めています。



今回、審査された各市町村で実施される緑の募金交付金事業は265団体7,948千円、公募を行った緑の募金助成金事業は17団体3,494千円で、いずれも適当と決定されました。

来年度以降、事業実施を希望する団体がございましたら、当委員会もしくは各市町村農林（産業）担当課へご相談ください。

■平成27年度第1回臨時総会及び第3回臨時理事会の開催

**とき 平成27年7月17日（金）
ところ 白兎会館「飛翔の間」**

平成27年度第1回臨時総会を、正会員103名のうち74名（出席25名、委任状49名）の参加を得て開催しました。開会に先立ち、野田 修理事長（前鳥取県議会議長）の挨拶があり、議長を選出。議長に鳥取県西部森林組合代表理事組合長 生田 公良さんを選出し、議事録署名人に団体会員の鳥取県中部森林組合代表理事組合長 小川 克彦さん、個人会員の山本 紀彦さんを選任し、議事に入りました。

第1号議案「役員（理事）の補欠選任について」事務局より説明後、採決により賛成多数で3名の役員候補者全員が選任されました。

この後、代表理事選定の臨時理事会開催のため、臨時総会を一時休憩し、臨時理事会において理事長及び副理事長の選定が行われ、斎木 正一鳥取県議会議長を当委員会の理事長に、尾崎 史明鳥取県森林・林業振興局長と前田 幸己鳥取県森林組合連合会代表理事長を副理事長に選定しました。

臨時理事会終了後、臨時総会を再開し、第2号議案「平成26年度森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業の実施状況」について説明。質疑応答のあと、報告事項として平成27年度春期募金状況について事務局より説明を行いました。

最後に、新たに選定された斎木 正一理事長が就任のあいさつを行い、臨時総会は閉会しました。



役員の皆様（平成27年7月17日現在）

役員	氏名	所属役職名	役員	氏名	所属役職名
理事長	斎木 正一	鳥取県議会議長	理事	中村 力男	(一社)鳥取県建設業協会常務理事
副理事長	尾崎 史明	鳥取県農林水産部森林・林業振興局長	理事	藤原 真澄	鳥取県山林樹苗協同組合理事長
副理事長	前田 幸己	鳥取県森林組合連合会代表理事長	理事	門脇 憲彦	(株)新日本海新聞社取締役総務局長
理事	田中 朝子	鳥取県連合婦人会会长	理事	前田八壽彦	鳥取県木材協同組合連合会会长
理事	浜橋 正教	鳥取県市長会事務局長	常務理事	岡村 通孝	(公社)鳥取県緑化推進委員会事務局長
理事	山本 義紀	鳥取県町村会若桜町副町長	監事	田中 静雄	(一社)鳥取県造園建設業協会会长
理事	蔵増 保則	鳥取県農業協同組合中央会専務理事	監事	大家 繁博	鳥取県椎茸生産組合連合会会长
理事	本城 浩	日本海テレビジョン放送(株)取締役編成営業局長			

(任期：平成29年2月通常総会まで)

■平成28年用国土緑化運動・育樹運動の標語を募集しています

国土緑化運動の一環として、植樹及び森林・樹木の保護・育成の助長並びに一般国民の緑化思想の高揚を図るため、緑化に関するポスター等に使用する標語を募集しています。

○標語の内容：簡潔で語調がよく、国土緑化の意を表し、植樹及び森林・樹木の保護・育成又は環境緑化意欲の高揚を強調したものであり、創作に限ります。

○応募方法：ハガキに住所、氏名、職業（学校名・学年）、標語を記載して応募してください。

○締め切り：平成27年10月20日（火）

○その他：入賞作品の著作権は、公益社団法人国土緑化推進機構に帰属する。

○応募先：〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地

鳥取県農林水産部森林・林業振興局内 公益社団法人鳥取県緑化推進委員会

※国土緑化運動及び植樹運動ポスターに使用する作品については、必要に応じて一部修正を加えることがあります。

■誕生記念樹贈呈事業

お子様の誕生をお祝いするとともに、緑を育てることの大切さを親と子どもに共有してもらうため、県内に居住している誕生1年以内の赤ちゃんを対象に「誕生記念樹贈呈事業」を実施しています。

対象は、平成26年（2014年）9月1日～平成27年（2015年）8月31日までに生まれた、鳥取県内在住の赤ちゃんです。（応募いただく方も鳥取県内在住者に限ります。）募集期間は、平成27年9月1日（火）～10月20日（火）までです。（10月20日の消印有効）贈呈樹種は、「キンモクセイ」「ハナミズキ」「ヤマアジサイ（紅）」の苗木各60本計180名。

該当される赤ちゃんがおられましたら、ぜひご応募ください。

詳しい案内は、本委員会のホームページをご覧ください。

※対象の赤ちゃんに対して複数応募があった場合、配布記念樹は1本とさせていただきますのでご了承ください。



キンモクセイ（イメージ写真）



ハナミズキ（イメージ写真）



ヤマアジサイ（イメージ写真）

会員募集のお願い

公益社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展及び国際緑化に寄与することを目的として設立された公的団体です。

本委員会の組織運営は、緑の募金及び正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口 1万円

お問い合わせ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
(鳥取県農林水産部森林・林業振興局内)
(公社)鳥取県緑化推進委員会
電話：0857-26-7416
FAX：0857-26-8192
URL：<http://www.tottori-green.or.jp>